### (2)総合評価シート (様式)

# 指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和6年度)

施設名	吹田市立千里山コミュニティセンター	所管部室課名	市民部市民自治推進室
所在地	吹田市千里山霧が丘22-Ⅰ	設置年月日	平成27年4月11日

## I 施設の概要

(1)設置目的	文化学習活動、ボランティア活動等市民の多様な地域活動の用に供し、地域における情報の交流を 促すとともに、世代を超えた市民の連帯を深め、潤いのある豊かな地域社会の形成に寄与する。		
(2)規模、開館日等	【規模】 (敷地面積)2,283.57㎡ (延床面積) 920.54㎡ (貸室名称) 会議室 3室、和室 多目的ホール、創作室、料理実習室	【開館日等】 (休館日) 2月29日から 月3日、施設の点検日 (開館時間)午前9時から午後 0時	

# 2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	千里	里山コミュニ	ティ協議会			
(2)指定期間	令和	□3年(202	年)4月 日	~ 令和8年(2	026年)3月3	I 日(5 年間)
(3)選定方法	非么	<b>公募</b>				
(4)指定管理者 が行う業務内 容						
			令和!	5年度	令和 6	5年度
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	指定管理料 又は利用料金 (円)	21,333,552	20,929,862	22,109,575	21,844,256
(5)指定管理者		自主事業 (円)	1,338,000	1,255,963	1,438,000	1,403,796
の収支		その他 (円)				
7 // /	支出	管理経費 (円)	21,333,552	20,929,862	22,109,575	21,844,256
		自主事業 (円)	1,338,000	1,255,963	1,438,000	1,403,796
		その他 (円)				
	収	支差額 冏	0	0	0	0

## 3 成果指標(活動指標)

	成果指標(活動指標)	令和5年度		令和6年度	
	风木1日/示(/白到1日/示)	計画	実施結果	計画	実施結果
١	利用件数	-	4,279件	4,350件	4,728件
2	稼働率	-	58.90%	60.00%	65.30%
3	利用人数	-	44,643人	45,000人	50,350人
4					
5					
6					
7					
8					

#### 4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	・利用者アンケートの実施 ・窓口での利用者との対話
(2)把握結果	利用者アンケートでは、おおむね「満足」との評価結果を得ております。 主なご意見・ご要望は下記のとおり ・クレジット決済希望、窓口支払いもキャッシュレスがあると便利・WEB予約システム画面をスマホ用の簡易 版も作成希望・鏡を増やして欲しい・会議室(3)と創作室の机が重たく、移動時に苦労する
(3)結果を受けての対応状況	キャッシュレス決済導入に向けて検討中。窓口支払いに関してはシステム改修が必要であり直ぐには改善が困難です。WEB予約システムのスマホ用は作成の予定はありません。設備品に関しては、経年劣化で交換・修繕を必要とするものが多くなっており、安心してご利用いただける施設となるよう計画的に交換・修繕をすすめてまいります。

#### 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価		
(I)市民の平等 な利用の確保	・管理運営の方針は、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 ・平等利用の確保は、利用者の公平性が確保されていた。		
(2)施設の効用 の発揮	・広報誌を近隣店舗やマンションに配付するなど利用促進を図っている。 ・千里山らしさを発揮した主催事業として、招聘する講師・出演者は大半が地元の団体・講師であり、地域の人材発掘と活性化に大きく寄与している。 ・子育て支援を柱の一つとして毎年講座を実施しており、保育付き講座を実施されました。 ・設置目的に合致した事業計画に沿った運営を行いながら、サービス向上に努めている。		
(3)管理を安定 して行う人 員、資産その 他の経営規模 及び能力	・業務研修は主に奇数月に行うスタッフミーティング時に実施している。 ・事務研修や避難誘導訓練を実施しているほか適宜業務マニュアルの作成・改正を行っている。 ・スタッフ向けにWEB予約システムの操作研修、救命訓練のほか必要に応じて人権研修等を実 施。 ・緊急時対応マニュアルを作成しており、スタッフ間ではメールを活用するなど緊急連絡網があ り、市等関係機関への通報ルートも整備されている。		
(4)施設の管理 経費の縮減	消耗品の残数をリスト化し、不要な物品の購入を控えている。コミュニティスペースや廊下の蛍光灯の間引き、冷暖房の設定温度を調整、両面コピーの励行による用紙の節約等の取組みを行っている。また、太陽光発電設備を活用し、利用者が使用するPCの電気を賄っている等、光熱水費や事務経費の節減に取り組んでいた。		
(5)その他	・市報や学びの情報等への掲載のほか広報誌「千里山コミセンだより」を定期的に発行。 ・独自のホームページやロゴマーク等を作成し施設の利用案内や事業の開催案内、空室状況の情報 提供を行っている。		

#### (6)総合評価

利用件数、稼働率、利用人数ともに前年度と比較して増えており、運営体制、運営内容に関しては概ね適正かつ誠実に実施されている。また、アンケート結果からも利用者満足度は高く、コミセンを有意義に利用いただけるよう、幅広い世代への講座の開催、コミュニケーションを大切にしながらコミカフェコンサートの開催、地域交流掲示板の設置、ギャラリー展示を行うなど、管理運営は順調であると言える。